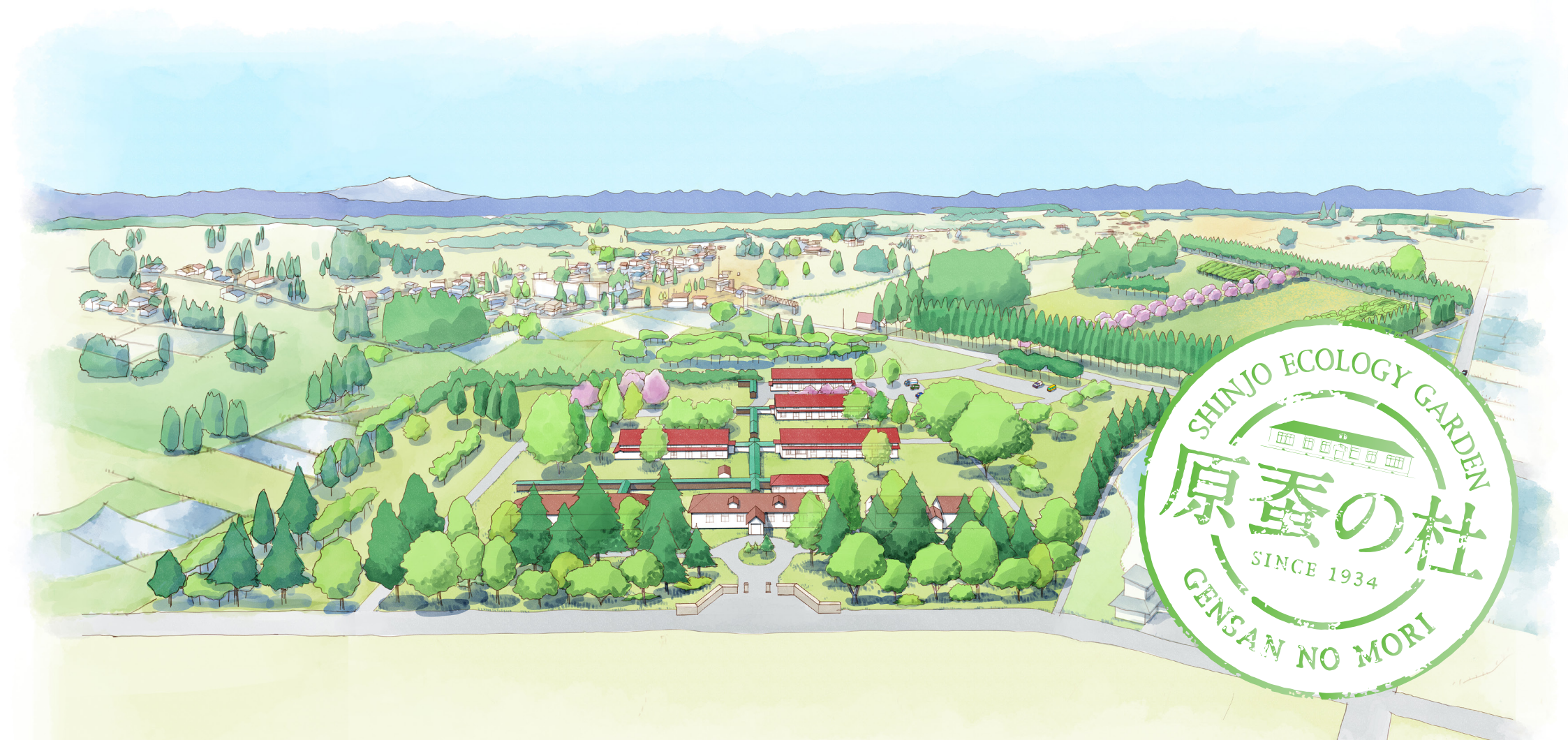
資料５

東北中央自動車道沿線の新たな魅力拠点

「道の駅　新庄エコロジーガーデン　原蚕の杜」の紹介



歴史を未来へ繋ぐ、文化と交流の拠点

・日本の近代化を支えた「旧農林省蚕糸試験場」を活用

－昭和 9 年開設、半世紀以上にわたり蚕糸業を支えた研究施設

－国の登録有形文化財にも指定された、希少な建造物群









年間 14 万人が訪れる、賑わいの複合拠点

・市民が創り出す「賑わい」「憩い」

－毎月 1,000 人以上が来場する
「キトキトマルシェ」

－四季を通じた多彩なイベントを開催

・地域の「食」「産品」が集まる

－産直施設まゆの郷
地産地消カフェ「AOMUSHI」

・すでに多くの人々を惹きつける交流拠点として成長













道の駅新庄エコロジーガーデン原蚕の杜

令 和 ７ 年 １ ２ 月 １ ４ 日 オ ー プ ン



「道の駅」化で生まれる、高速道路との相乗効果



休憩需要の新たな受け皿として

– ドライバーの安全性・快適性向上に貢献



目的地化による、交流・観光人口の創出

– 高速道路の利用目的を創出し、交通量の増加を促進



地域全体へのゲートウェイとして

– 周辺地域への経済・文化的な波及効果が期待される

指定管理者制度による新たなスタート

地域　×　指定管理者　×　新庄市

この場所から
地域全体へ
賑わいを広げていきます